

【評価シート】 令和4年度 企業版ふるさと納税対象事業実績

	事業名	事業費 (千円)	寄附額 (千円)	差額 (千円)	主な具体的事業	事業概要	重要業績評価指標 (KPI)	当初値 R1	単位	R4目標 R4実績	達成度	令和4年度の取組状況	実績値を踏まえた今後の取組み・事業展開	担当課
1	渡良瀬遊水地の湿地 保全と賢明な利用推 進事業	(R4) 15,575	(R4) 2,000	(R4) 13,575	渡良瀬遊水地の観 光地化推進事業	渡良瀬遊水地の自然環境や伝統 文化を活用し、「コウノトリ交流館」 を拠点としたエコツーリズムの推 進等により、観光地域化と誘客を 進め、交流人口の増大を図る	渡良瀬遊水地、周辺 地区来訪者数	18,000	人	24,000 22,800	A	・「渡良瀬遊水地コウノトリ交流館」 R2.5.30オープン、令和4年度累計入場者数 10,488人 体験イベント:コウノトリの巣づくりワー クショップ、ヨシ腐茎土づくり体験などを開催 ・渡良瀬遊水地のヨシ灯り2022 R4.10.15(土)・16(日)街なか交流を目的に小 山御殿広場にて実施。 栃木市と共催。 来場者2,600名(2日間計) ※遊水地周辺で実施していないため左記実 績には含めず。 ・ツバメのねぐら入り観察会 R4.8.6(土)開催 参加者34人 ・生きもの見つけ大作戦 R4.11.6(日)開催 参加者20人 ・チュウヒのねぐら入り観察会 R4.12.17(土)開催 参加者44人 ・ヨシ刈り体験 R5.2.18(土)開催 参加者33人	これまでは田んぼアート、マラソン等の大規 模イベントに渡良瀬遊水地が一部使用され ていたが、これらはコロナ禍を経て統合、廃 止されている状況である。 なお、一方でこれまで渡良瀬遊水地近隣で 実施していたヨシ灯りは、街なかとの交流を 目的に小山市中心部の小山御殿広場で開 催し、好評を得ている。 今後、大規模イベントによる「観光地化や誘 客」の機会は減少することが予想される が、遊水地周辺と街なかの住民や事業者・ 団体など、新たな交流の形を創り出し、渡 良瀬遊水地コウノトリ交流館や地域資源を 活かした地域活性化に取り組んでいく。	自然共生課
2	生物多様性推進事業	(R4) 10,432	(R4) 3,000	(R4) 7,432	コウノトリ・トキの野 生復帰 コウノトリ採餌環境 整備	国の特別天然記念物、環境省 レッドリストの絶滅危惧1A類に指 定されるコウノトリの野生復帰を 通じて、生物多様性豊かな地域づ くりを推進する	コウノトリ孵化数	0	羽	6 6	A	2020年 5月に渡良瀬遊水地内の人工巣塔に 定着していたコウノトリ「ひかるみ」「歌♀」ペア に2羽のヒナが誕生し、7・8月にかけて無事に 巣立った。 10月には母鳥の「歌」が左脚の負傷により死亡 したものの、11月以降に「ひかる」が新たな雌 鳥「レイ」と行動を共にするようになり、2021年3 月に2羽のヒナが誕生した。 2022年も3月に2羽のヒナが誕生しており、6月 に無事に巣立ちを迎えた。採餌環境整備の一 環で、無農薬・無化学肥料で水田ビオトープの 取り組みを実施し、生きものの生息量調査を 行った。また、より広域でコウノトリの見守り体 制を確立するため、渡良瀬遊水地コウノトリ見 守りボランティアを募集し、研修会を開催した。	①ヒナ誕生から巣立ちまでの週末に職員が 実施していた生井桜つつみ堤防上での観 察ガイドに、昨年度募集した見守りボラン ティアから有志のメンバーに参加してもら う。 ②水田ビオトープの取り組みを広めていく ため、無農薬・無化学肥料以外の取り組み メニューを用意し、より多くの農家に賛同を 得られる仕組みを模索していく。	
3	環境創造型農業推進 事業	(R4) 8,391	(R4) 3,000	(R4) 5,391	ふゆみずたんぼ実 験田事業の拡大 ふゆみずたんぼ実 験田生き物(ホンモ ロコ)増殖事業の 拡大	無農薬・無化学肥料のふゆみず たんぼ米栽培を通して、持続可能 な農業を推進する ホンモロコ養殖を支援し、農家の 所得向上を図る	ふゆみずたんぼ米収 穫量 ホンモロコ漁獲量	26	t	28 20	B	実施面積=6.6ha、0.6ha増 取り組み農家数=9名 ・ふゆみずたんぼ実験田推進協議会運営(販 売支援) ・ふゆみずたんぼ米を使用した学校給食の実 施 ・有機JAS認証取得支援 養殖面積=22a、増減なし 養殖農家=2名 ・ふゆみずたんぼ実験田推進協議会運営(販 売支援) ・ホンモロコを使用した学校給食の実施 ・渡良瀬遊水地小山養魚場運営	環境に配慮した無農薬・無化学肥料で栽培 した「ふゆみずたんぼ米」の生産、販売を支 援することで、持続可能な農業の推進と農 家の所得向上を目指す。 また、有機農産物の消費拡大も必要なこと から、学校給食での使用回数の増加を図り ます。 環境に配慮した農業として、ホンモロコをブ ランド化し、高級魚としての販売を支援する ことで、農家の所得安定、地域振興を図り ます。 また、消費拡大の観点から、学校給食での 使用回数の増加を図ります。	農政課
4	女性の人材育成・エン パワーメント支援事業	(R4) 443	(R4) 500	(R4) -57	女性起業家創出の 促進	若者、特に女性の都心への流出 を防ぐため、若者や女性の起業を 支援する事業を実施する	起業した女性の人数 (累計)	0	人	6 3	B	現在、起業家育成事業として、起業家育成講 座、創業相談、起業家フォーラムの3つの事業 を実施しており、起業した女性は、起業家育 成講座の受講者から1名、創業相談を受けた方 の中から1名の計2名となった。	現在実施している3つの起業家育成事業 に、事業間の連携性がないことが課題と なっている。 各事業の参加者から、既に起業した人との 繋がりが、参加者間で情報交換が出来る 場を作って欲しいとの意見も多いことから、 起業家創出の促進を図るため、今後は各 事業の参加者間で繋がりを持つ仕組み作 りを検討していく。	工業振興課